

第3学年通信

中央区立晴海西中学校
第3学年
令和7年9月19日
第11号

修学旅行で得たものは？

令和7年9月15日（月）～17日（水）、京都・奈良修学旅行に行ってきました。東京駅に集合してから、日本を代表する古都である京都・奈良をめぐるしてきました。2日目、3日目の班別行動では、1学期からルートを考え、自分たちで決めたルールをしっかりと守ることができたでしょうか。一度しかない中学校の修学旅行、普段家族や友人と行く旅行ではない旅行を楽しむことはできたでしょうか。

今回の修学旅行で得たことをしっかりと自分のこれからの生活に生かしてください。事前学習、しおりの作成、係会、事前指導の時からたくさんの先生がおっしゃっていたように、これは「修学」旅行です。ということは、事後学習まで終えてこそその学びなのです。事前に調べた場所に直接行って感じてきたこと、考えたこと、ルートを考え実行したことで気づいたこと、学んだこと、集団活動の中での新しい気づきなど、たくさんの学びがあったのではないのでしょうか。それらをもう一度自分の中で振り返り、しっかりと自分自身の学びにしていってほしいと思います。そのためにも、これから始まる事後学習を真剣に取り組み、修学旅行をすばらしいものとして完成させていきましょう。

来週は生徒会役員選挙があります

来週、9月26日（金）に生徒会役員選挙が行われます。3年生であるみなさんには被選挙権はありませんが、大切な選挙権があります。令和7年度前期生徒会役員であった人も、そうでなかった人も、しっかりとこの生徒会役員選挙に気持ちを向けて、5・6時間目に行われる立会演説会に臨んでください。

生徒会とは、この晴海西中学校の全校生徒によって成立する生徒のための組織です。みなさんがこの学校の主役であり、責任者でもあります。新しい晴海西中学校だからこそ、これから歴史をつくっていく責任が、今のみなさんにはかかっているのです。生徒会役員選挙は、晴海西中学校をつくっていく上で核となって活動していくメンバーを選出する大変重要な選挙です。3年生として、これからの晴海西中学校の中心を担っていく下級生たちに、どのような思いを託し、残していきたいのかを考え、投票するようにしてください。

また、みなさんは3年後には国政選挙における選挙権を得ることになります。社会科の授業をはじめ、さまざまな場面で、選挙権や一人一人がもつ権利については触れてきました。生徒会役員選挙は、とても身近な自分自身の権利を行使する機会です。その意義を、一人一人が考え、みなさんの大切な一票を投じてほしいです。自分自身の一票が、明日をつくる。それは晴海西中学校の中でも、またこれからのみなさんがはばたく社会においても同じことだということを忘れないでください。



《今後の予定》

日	曜	学校行事・学年行事	給食	1	2	3	4	5	6	備考
22	月	朝礼	○	①	②	③	④	⑤	⑥	
23	火	秋分の日	×							
24	水		○	①	②	③	④	⑤		
25	木	サザランド出迎え	○	①	②	③	④	⑤	⑥	
26	金	【B時程】⑤⑥生徒会役員選挙	○	①	②	③	④	生徒会役員選挙		

浅野 T のひとり言 おすすめの本

50年以上もの間語り継がれる名作を紹介♪

『モモ』

(作者) ミヒャエル・エンデ (訳者) 大島かおり

あなたは「時間」を見たことがありますか。「時間」に触れたことはありますか。そして「時間貯蓄銀行」という灰色の男たちを知っていますか。

ドイツの作家ミヒャエル・エンデによって綴られた児童文学の名作のひとつ『モモ』は幼い不思議な女の子です。モモのそばにいと誰もが素敵な時間を過ごしています。ゲームもテレビも新聞だってないけれど、集まった人たちは、大海原に飛び出す海賊船に乗って旅をすることだってできるのです。そして、誰もが自分自身ですら知らなかった自分自身を知ることができます。しかしモモは何もしていません。ただそばにいと、話を聞いて、疑問に思ったことを質問するだけ、それがモモのしていることなのです。

そんなとき、時間貯蓄銀行の男たちが動き出します。人々から時間を借り入れて運用し、幸せな未来を与えると灰色の男たちはいいます。しかし時間貯蓄銀行にかかわった人たちの顔からは笑顔が消えていきました。

誰にでも等しく存在する「時間」をテーマにした作品。モモという一人の女の子を中心に、世界を揺るがす大事件が、しかしとてもひっそりと繰り返り広がっていくのです。少し不思議で、でもページをめくる手が止まらなくなる、世界を代表する一作を、中学生である今、ぜひ読んでほしいです。